

地域名 宇都宮市

パートナー名 陽東地区まちづくり協議会様

6班 コミュニティデザイン学科

建築都市デザイン学科

社会基盤デザイン学科

荻野響美

今野友裕

須田麻友

奥山賢人

細川雄太郎

背景

宇都宮市では平成22年から開始された「5種13分別」による3Rの推進がされている。プラスチック製容器包装のリサイクルの導入によって初年度は、実焼却ごみ量がおよそ12000t減少したものの、その後は減少することなく、現状維持が続いている。

宇都宮市では、分別方法を検索したり、収集日をお知らせするごみ分別アプリ「さんあ〜る」を配信したり、8言語のごみ分別表を作成したりと様々な取り組みが行われている。しかし今回私たちが活動対象とした陽東地区は、**ごみ出しに関するマナーが住民全体に伝わっていない**という課題を抱えており、それらの取り組みが人々に伝わっていないのが現状である。



目的

私たちは、**陽東地区の住民**と、行政からの情報が伝わりにくい自治会未加入者の代表として**大学生**を対象に調査を行い、自治会加入者と未加入者のごみ問題に対する意識の差を明らかにする。そして、自治会加入者及び未加入者のそれぞれに対して課題解決のための提案をすることを目的とする。

方法

調査手法

アンケート (Googleフォーム・紙媒体)

調査対象

大学生 (回答数48件)・陽東地区住民 (回答数139件)
 大学生⇒地域デザイン科学部でアンケートを実施
 住民⇒自治会加入者には地域パートナーの方の協力のもと紙媒体のアンケート用紙を配布。未加入者には、未加入者が居住するアパートに班員各自でポスティングを行った。

質問内容

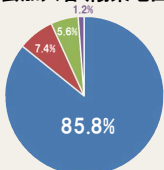
自分や周囲のごみ捨てマナーについてや自分が使用しているごみステーションの状況、ゴミ出しで困っていることなどを問う質問とした。

分析結果

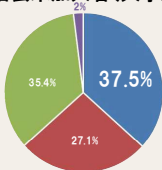
〈アンケート結果から見られた自治会加入者と未加入者の意識の違い〉

● 5種13分別を順守しているか

自治会加入者(陽東地区住民)



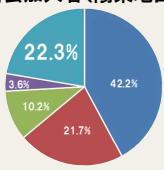
自治会未加入者(大学生)



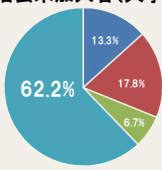
- ルールを順守し、きちんと分別している
- 資源ごみで出しているのはペットボトルとビン缶のみである
- 焼却ごみと不燃ごみの2分別しかしていない
- 危険ごみは分別せず、不燃ごみと混ぜて出している

● ゴミ出しで困っていることはあるか

自治会加入者(陽東地区住民)



自治会未加入者(大学生)



- ごみステーションがガラスや磁器に棄られる
- 一部の集合住宅の入居者などにルールを守らない人がいる
- ごみステーションの清掃担当者や管理者がきちんと掃除を実施していないことがある
- ごみステーションが遠いため、指定日ごとにごみ出しするのが大変
- 特になし

● 分別がしっかりとできている人の割合
 自治会加入者:85.8% 自治会未加入者:37.5%

● ごみ出しで困っていることがない人の割合
 自治会加入者:22.3% 自治会未加入者:62.2%

自治会加入者⇒ **分別が完璧な人が多いが困りごとも多い**
 自治会未加入者⇒ **分別が完璧な人は少ないが困りごとも多い**

未加入者は、ごみ出しに対する**関心**や**知識**が少ないため、分別があまりできていなくてもごみに関して困ることがないのではないかと

自治会未加入者に対しては、**ごみに対して関心を持たせる工夫や知識を得る機会**を作ることが必要

加入者は、ごみ出しに関する**関心**や**知識**はすでにあるため、全員が分別を完璧にするための工夫や困りごとの解決策考えていくべき

提案

〈自治会加入者に対して〉

地区ごとに色の異なる袋を配布 … 住民以外のごみ捨て防止

自治会加入者に対するアンケートで、ごみ出しで困っていることこの自由記述欄で「**住民以外の方が勝手にごみを捨てていく**」という回答が多く見られた。地区ごとに袋の色を揃えることで他地区の住民が捨てにくい環境とすることを旨とする

誰が出したか分かるようにするための工夫

例えば、マスキングテープをごみ袋に貼って、どれが誰のごみかをわかるようにしたり、ゲージがあるところはチェックシートを貼っておき、出したことをわかるようにしたりする。**どれが誰のごみかを特定できるようにする**ことで、しっかりと分別をしてから出すようになると思う。

〈自治会未加入者に対して〉

ポスターによる訴えかけ

リサイクルの意義を訴えかけ、分別に対するインセンティブを図るポスターを提案する。**指示、命令に類する言葉を使用せず、抵抗感を減らす設計**とした。



図1 ポスターの例

ピクトグラム

オリンピックでも使われたピクトグラムを、ごみの分別に応用する。**日本語の読めない外国人でも今日は何のゴミを出していい日なのかを理解しやすく**することを目的としている。さらに、**一目で何のごみの回収日か分かる**ことにより、ごみ出し曜日の間違いを防止できる。上のピクトグラムは燃えるごみ、下のピクトグラムは資源ごみを表している。それぞれのごみを出す曜日にこのピクトグラムをごみステーションに掲示し利用する。

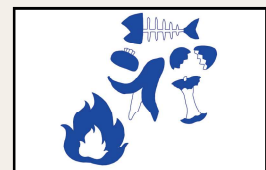


図2 燃えるごみのピクトグラム



図3 資源ごみのピクトグラム